

東北経済連合会・阿部副会長 主催者挨拶

社会資本整備の重要性に関するシンポジウム

2020年11月10日（火）

於：仙台勝山館

「社会資本整備の重要性に関するシンポジウム」の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本日は、大変ご多用のところ、多数の皆様にご参加いただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の台風19号や今年7月の豪雨など、近年、大規模自然災害が相次いでおり、東北6県・新潟県でも広範囲にわたり、甚大な被害が発生しました。また、従来から、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震の発生も危惧されております。これらの大規模自然災害から国民の生命・財産を守るため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」後も、「事前防災」の観点を重視した、防災・減災対策や国土強靱化に向けた取り組みが重要です。

東北6県・新潟県では、日本海側の縦軸、そして、日本海側と太平洋側を結ぶ横軸の未整備などから、地域間格差が顕在化してきております。高規格幹線道路や地域高規格道路の早期整備によりミッシングリンクを解消し、地域の相互ネットワーク化やストック効果の最大化を図ることが必要です。

加えて、今年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大により、大都市一極集中の脆弱性が露わになり、BCPなどの観点から、人や企業の地方分散に対する意識が高まってきております。従来の地方分散の動きは、人口減少や経済縮小による「地方から中央へのお願い」という側面が強いものでした。今回は、デジタル化やDXなどをキーワードに、大都市集中型の社会構造の変革による、地方分散が生じているものと理解しております。

当会では、今回が長年進まなかった地方分散を実現するラストチャンスと捉えており、「東北6県・新潟県が地方分散のトップランナーを目指す」という決意の下、最近、「ポストコロナ・5つの提言」を取りまとめたところです。提言内容を簡単に申し上げますと、リモートワークが容易に可能となることで、東北6県・新潟県と首都圏の二地域に暮らしや働きを持ち、双方の良さを享受・満喫する暮らし方、働き方を可能とするライフスタイル、すなわち「デュアルライフ東北」を目指すものです。提言の実現には、東北6県・新潟県でのデジタル化の推進や、DXによる地域産業の自立と成長、地域資源を活かした農業・観光業などの強化が必要です。併せて、その基盤となる社会資本の継続的な整備により、東北6県・新潟県における拠点都市間や産業拠点間のネットワーク化、並びに人と物の更なる交流促進を図ることが

不可欠であります。

このような状況を踏まえ、本日のシンポジウムでは、社会資本整備が果たす役割や、防災・減災対策、国土強靱化の必要性を再確認いたしたいと存じます。

この後、参議院議員の足立先生や東北大学の今村先生、内閣官房の五道内閣審議官より、各テーマに沿ってご講演いただき、「これからの社会資本整備を考える」と題し、パネルディスカッションいただきます。

本日は、今後の社会資本整備の在り方について、示唆に富んだお話を伺えるものと大変期待しているところでございます。

最後になりますが、本日のシンポジウムが、今後の社会資本整備の必要性について、共通認識の醸成につながることをご祈念申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は、宜しく願いいたします。